

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	太陽の子南砂2丁目保育園
施設所在地	東京都江東区
法人名	HITOWAキッズライフ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

様々な表現を用いて、形を表す（絵本を通して）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

普段の保育の中で、保育者へ本を読んでほしいと伝える子どもの姿や読み聞かせに集中をして聞いている子ども、自ら絵本を読んでいる子どもの姿が多く見られた。また、絵の具や絵を描くなど製作をすることに興味を示す子どもが多くいた為、このようなテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

4月15日 絵本題材「そらまめくん」

・そらまめくんの製作を行う。指で絵の具を塗る・スタンプをする、シールでそらまめくんの顔を完成させるなど、指先を使った活動を行った。

5月1日 絵本題材「しんごうきピコリ」「ラリー」

・クーピーで手先や手首を使い、読み聞かせをしていた絵本の塗り絵を行った。

7月23日 絵本題材「まごっちゃんおう！」

・絵本に登場するあか・きいろ・あおだけを混ぜ、何色のジュースができるか混ぜ合わせる。色の変化以外に、混ぜる・そそぐ・などの手の動きを取り入れ、繊細な動作を促す活動を行った。

11月～絵本題材「こんなこいるかな」

・発表会に向けてキャラクターに親しみをもち、決めたキャラクターのお面を自分たちで作り、それを身に付けて発表会でリトミックとオノマトペ遊びの発表を行った。

・筆を使ってキャラクターの色を自分たちで塗り、指先を使った製作遊びを行った。

1月 絵本題材「やさいのがっこう」

野菜が苦手な子が多く、給食時の残しも気になったこともあり野菜が身近なものになるように好きな野菜を選び制作へと繋げた。1年間、のりやハサミや毛糸など様々な素材にも触れてきた。今回の制作では、今までの活動の中で経験してきたことを踏まえ、土台は保育者が作り、装飾を個々で考え少人数でじっくりと時間を掛けて取り組むことが出来た。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・題材絵本 ・絵の具 ・画用紙 ・コップ ・割りばし ・折り紙 ・はさみ、のり

・キャラクターのイメージがつきやすいように壁面にキャラクターを貼り、馴染みやすいようにした。

・パネルシアター台、パネルシアターを購入し、絵本だけではなく子ども達が知っている手遊びの内容がパネルシアターになったものを活用し、視覚的要素を上手く活用した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

<p>①絵本の内容を知り、理解しようとする</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちの好きな絵本の種類を保育者が理解して、活動前の導入で同じシリーズの絵本をよんだり、その絵本に関する話（どんな内容だったか、誰が出てきたのか等）を子どもたちと行った。 <p>②絵本を題材にした製作遊び（塗り絵、色水遊び、指先遊び）をする</p> <ul style="list-style-type: none">・色に興味をもち始めていた為、色水遊びを夏ごろを中心に行った。混ざる様子や、色の変化に不思議そうにしている様子がみられた。・塗り絵では、“絵本と同じ色にする”と絵本をみながらぬったり、オリジナルカラーで塗ったりと個々で楽しんでいた。 <p>③絵本から発表会に向けて製作（お面、衣装）を行う</p> <ul style="list-style-type: none">・キャラクターの種類と名前、特徴を覚えられるように同じ絵本を繰り返し読んだ。・演じるキャラクターが決まった後は、筆を使い、お面の色塗りを行った。同じキャラクター同士での色塗りを楽しんでいる子どもが多く、筆にも興味がある様子だった。・衣装（カラーポリ袋）にシールを貼り、デコレーションを自分たちで行った。 <p>④絵本のキャラクターから自分で好きなキャラクターを選び、発達段階に合わせた製作遊びを行う</p> <ul style="list-style-type: none">・「やさいのがっこう」の絵本を使い、自分たちで野菜を選んでもらう（予定）・個々の製作への興味と発達段階に合わせて、はさみを使ったり、のりを使ったりしながら1つのキャラクターを完成させ、作品展で保護者に見せる（予定） <p>④絵本だけではなく、パネルシアターを見ることで絵本に興味を持てない子どもイラストや絵が動くことでどうなるのか？と目で追ったり自分がパネルシアターの世界に参加出来る楽しみを知り、「観る」という時間が少しづつ長くなっている。</p>
--

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

<ul style="list-style-type: none">・全体的に絵本が好きなクラスだった為、保育者が子どもたちの好きな絵本の系統を見つける事が難しくなく、絵本によって反応が違い、活動に繋げやすかった。どの保育者が読んでも同じような反応が見られ、シリーズものが好きな子どもが多いと感じた。※そらまめくん、ラリー、まざっちゃん、こんなこいるかな、季節ものが好きであると感じた・製作自体が好きな子どもが多い為、色の変化に“色変わった”と保育者に伝えたり、手に絵の具を付けた状態で子ども同士で手をすり合わせて変化を楽しむなどの広がりがみられた。・はさみに興味が出てきて、家での様子とすり合わせて行うことで、道具を使った製作に興味が出てきている子どもがいた。・絵本の内容を理解することが上手な子どもが多く、保育者が内容を聞いたときに答えられる子どもが少しずつ増えていくのを感じた。また、自由遊びの際、子どもの方から“さっき読んだ絵本また読みたい”と声がかかることがあり、内容理解につながったのではないかと感じた。 <p>。</p>
--



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵本自体が苦手な子どもも、同じ絵本を繰り返し読むことにより、興味がみられたり、見てみようとするが増えてきたように感じた。また、興味のあるものや反応が良かったものを繰り返し読むことで読む前から嬉しそうにしていたり、保育者が読む絵本を選んでいると”〇〇がいい”と子どもたちの方から声がかかるが増えていっているのを感じた。

絵本を通した製作遊びでは、色の変化から子どもたち同士のやり取りに繋がったり、遊びの展開に繋がっているのを感じた。塗り絵が好きな子どもが多く、集中して取り組んでいた。

絵本への興味が強く、製作への興味が強いこともあった為、製作に繋げたり、いろんなジャンルの絵本を読み、世界観を広げていけるようにしていきたい。

絵本やパネルシアターの世界を楽しめるようになってきた子たちは、ハサミやのりやテープなど制作を通して、道具の使い方や毛糸や画用紙などいろいろな素材にも触れ、指先を使う活動へと発展、移行していることで自分で想像したものを形にしたり、塗り絵などで色を塗るなど様々な表現方法を習得出来る活動へと繋がった。幼児クラスへと進級していく先に自由に発想することの楽しさや面白さを感じられる活動や環境をこの先の考え続けていきたい